

# みなまたびよう 水俣病を学ぼう!



わ~きれいな  
海だね!  
どこだろう?



熊本県にある  
水俣湾だモン!



うめたち 埋立地(エコパーク水俣)からみた水俣湾の様子(水俣市提供)



このきれいな海も、工場の排水が原因で環境が壊され  
その結果、水俣病が発生した時期があったんだよ。  
さあ、みんなで水俣病問題について学習してみよう。

●学校名

●クラス

●名 前

熊本県  
水俣市



昔と今ではどのような違いがあるかな？

3ページに書いてある

**ポイント** に注目して比べてみよう！

比べたら、中を開いて読んでみよう！！

■注意点／このイラストは、昔と今の状況の違いを説明するために作成したイメージです。  
当時の人みんなの生活を表したものではありません。

水俣病公式確認(1956年)頃の様子



中を開いてね!



イラストを比べたら、  
中を開いて一緒に  
水俣病について学ぼう!



# ポイント

- ① 工場の排水
- ② 病気の知識
- ③ 情報の伝わり方 じょうほう
- ④ 食生活
- ⑤ 水俣湾の様子
- ⑥ 魚の様子
- ⑦ ゴミ処理方法

※左右のページで同じ数字の絵をくらべてみよう

## 現在の様子





# どうして水俣病は発生したの？



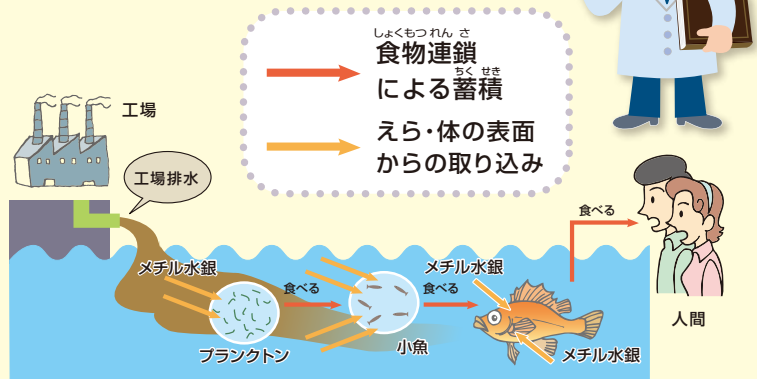
水俣病は、1956年に熊本県水俣市で初めて確認されたんだよ。  
 水俣市にあるチッソ水俣工場から出された排水の中に、毒性の強い「メチル水銀」という化学物質が含まれていたんだ。「メチル水銀」は魚や貝に取り込まれて、その魚や貝を長い間たくさん食べた人々が水俣病になったんだよ。



## もっとくわしく！ 水銀について

チッソ水俣工場は水俣病発生当時、日本でも大きな化学工場として日本の第二次世界大戦後の立ち直りや、経済の成長を支えるいろいろな化学製品を作っていました。その原料(アセトアルデヒド)を作る時にメチル水銀が発生しました。

水銀は、昔から体温計や蛍光灯などの製品で利用されてきましたが、水俣病を引き起こしたメチル水銀は、水銀の中でもとても強い毒性を持っています。



### ※食物連鎖とは

自然の中で生き物たちには、「食べる」・「食べられる」の関係があります。この関係が鎖のようにつながっているので食物連鎖と呼ばれています。

# 水俣病ってどんな病気なの？

体の中に入ったメチル水銀は様々な症状を引き起こします。水俣病の症状や程度は人によってそれぞれ違います。発生当初のとても症状が重い人は、ひどいけいれんを起こしたり、意識不明になって短い間に亡くなることもありました。また、妊娠している母親の体内に入ったメチル水銀が、へその緒を通じておなかの中の赤ちゃん(胎児)へ取り込まれて、生まれながら水俣病の症状をもった赤ちゃん(胎児性水俣病患者)も見られました。さらに小さいころに被害を受けた方(小児性患者)もありました。

水俣病は、空気や食べ物を通じて人から人へうつる(伝染する)病気ではありません。また、遺伝もしません。

水俣病を完全に治すことができる治療法はないと言われています。そのため、一時的に症状をやわらげる治療が中心になっていることから、現在も水俣病の人々は日常生活の様々な場面で苦しんでいる方もいます。

### 水俣病の主な症状

- 手足のしびれ、さわられた感じや痛みを感じにくい。
- 熱いものや、冷たいものにさわっても感じにくい。

- 転びやすい。
- まっすぐ歩きにくい。
- ボタンをかけたり、衣服の着脱など日常の動作が思うようにできなくなったりする。

- 音を識別しにくい。
- 相手の言うことが聞き取りにくい。
- 耳鳴りがする。

- まっすぐ見たときに周辺が見えにくい。

水俣病と認められた患者(認定患者)の数は、2014年12月31日現在で2,277人(熊本県1,785人、鹿児島県492人)に上っており、被害者の方の苦しみは、今なお続いています。

# どうして『水俣病』っていうの？



発生当時は原因も分からず、「奇病」と言われていたけど、新聞などで水俣の地名をつけて「水俣病」と呼び始めたことで病名として定着してしまったんだよ。決して特定の地域<sup>いき</sup>だけで発生する病気<sup>びょうき</sup>（風土病）ではないことに注意してね。



## もっとくわしく！ 差別やいじめの問題

水俣病の原因が分からない頃は、空気を通してうつるといったように思われて、患者の方やその家族は地域の付き合いを断られることもありました。

また、水俣市はチッソやその関係先で働く人が多く、市民の間に水俣病に対する考え方に違いがあり、チッソと自分の生活を守ろうとする人と患者との間では非難、中傷が繰り返され、地域社会の人間関係が壊れていきました。原因が分かった後も病気<sup>びょうき</sup>について正しく理解してもらえず、仕事に就けなかったり、結婚<sup>こんこん</sup>を断られたりした人がいました。

一方で、水俣市以外の地域では、水俣病という名前によって水俣に住む人みんなが病気になるイメージができてしまい、修学旅行先や進学・就職先で差別やいじめを受けて辛い思いをした人が多くいました。このため、水俣出身であることを隠さなければならぬ状況<sup>じょうきょう</sup>にありました。

何度か病名を変えようという運動がありました。すでに医学用語として定着してしまっていることから、現在も「水俣病」という病名が使われています。

# 当時はどういう暮らしをしていたの？



漁村では、魚や貝を主食（今でいうご飯やパン）とする家庭もあったそうだよ。現在、私たちがスーパーへ買い物に行くように、<sup>ちよくせつ</sup>直接海へ<sup>しんせん</sup>新鮮な魚や貝を獲りに行っていったそうなんだ。

現在のように情報を伝える手段であるTVやインターネットなどが普及<sup>ふきゅう</sup>していなかったんだよ。



# 環境復元（壊れた環境を取り戻す取り組み）

チッソ水俣工場の排水によって、水俣湾には水銀を含んだ大量のヘドロが積み重なり、環境が汚染され、魚介類も水銀によって汚染されて魚を捕ったり食べたりすることができなくなった。

熊本県は、汚染された水俣湾の環境を復元するために「仕切網」の設置や、「埋め立て工事」などを行ったんだよ。

今では、水俣湾もきれいになって、魚も安全だよ。また、現在も水俣湾の魚や海水などに含まれる水銀の濃度を調査し続けて安全を確認しているんだよ。



埋立前(水俣市立水俣病資料館提供)



埋立後(水俣市立水俣病資料館提供)

## 環境を大切に**する取り組み**

水俣市では、美しい環境を壊し、大切な命がうばわれた水俣病の経験を生かすために、1992年「環境モデル都市づくり」を宣言し、まちづくりを進めているんだ。

この取り組みでは、行政と市民が一緒になって、水俣病を経験した町だからこそできる「環境を大切に**するまちづくり**」を進めているんだよ。



## もっとくわしく! **ごみの分別・リサイクル**

水俣市では、家庭ごみの減量・リサイクルを図るため全国に先駆け1993年からごみの細かな分別収集を始めました。その後も状況に応じた見直しを重ねながら2014年度は24種類に分別し、徹底してごみをリサイクルしています。この他、水俣市では、環境マイスター(安心安全で環境や健康に配慮したものづくり)制度などに取り組んでおり、2011年には、全国で初めて“日本の環境首都”の称号を得ました。



ゴミ分別収集の様子(水俣市提供)



# もやい直し(地域の絆を取り戻す取り組み)

水俣病が発生する中で、美しい環境が壊され、人々の健康が奪われ、地域の絆も壊されていったんだよ。現在水俣市では、市民間の中傷や、患者の方やその家族に対する差別、いじめによって壊れた地域の絆を取り戻し、人々が昔のように助け合いながら生活していけるよう、地域の人々が交流できる場所(もやい直し(※)センター)を作ったり、イベント(もやい音楽祭など)を行ったりして「もやい直し」の取り組みを進めているんだよ。

また、毎年5月1日には、水俣湾埋立地(エコパーク水俣)において水俣病で亡くなられた方々や、環境破壊に対する反省と環境再生への誓いを込めて、祈りを捧げることを目的として水俣病犠牲者慰霊式が行われているんだ。

※『もやい』とは、もともと船をつなぐことや人と人が支え合い、一緒に何かをすることです。水俣では、壊れてしまった人と人との関係、自然と人との関係をもとの良いものにしていくことを『もやい直し』と呼んでいます。



水俣病患者の方やその家族、水俣地域の人への差別やいじめについては、まだ完全には無くなってはいないようなんだ。自分が差別やいじめを受けたならどう思うかな？  
相手の立場になって考えることが大切だね！



慰霊式の様子(水俣市提供)

## 水俣病のことを伝える取り組み

水俣病のような苦しくて、悲しい出来事が二度と繰り返されないように、水俣病問題や環境問題について正しく知って学んでもらうために、水俣病資料館などが設立されたんだ。これら施設を中心に、水俣病の正しい知識や水俣病から学んだことを小中学生や大人、海外の人にも伝えているんだよ。(施設の情報は8ページを確認してね。)



### もっとくわしく! 教訓を伝える取り組み

熊本県では、県内全ての小学5年生の水俣への訪問(「水俣に学ぶ肥後っ子教室」)や、水俣病患者の方などによる学校訪問を行い、水俣病の教訓(水俣病から学んだこと)を伝える取り組みをしています。また、水俣市や芦北町では、毎年、水俣病の事を学ぶことができる講座が開かれています。



### 健康被害を受けられた方に対する取り組み

2004年には、最高裁判所において、排水を流したチッソだけでなく、水俣病の被害拡大を防ぐことができなかった、国と熊本県にも責任があるという判決が出ました。チッソとともに、国・熊本県も、水俣病の被害を受けた人々に対し、様々な医療や福祉対策に取り組んでいます。



会議の様子

## これからの取り組み

2013年には、熊本県で世界約140の国と地域が集まる会議が開催され水銀の採掘、利用、輸出入を禁止する「水銀に関する水俣条約」が採択されました。この会議の中で、熊本県知事は、水俣病を経験した熊本県が世界に率先して水銀に頼らない社会を目指す「水銀フリー宣言」を行い、2014年から取り組みを進めています。



水俣病資料館語り部のお話の様子  
(水俣市立水俣病資料館提供)

## 水俣病資料館 語り部(※)の方からのメッセージ

水俣病は人の健康を奪うとともに、地域の絆をもバラバラにしました。私は、水俣病を通して「正直に生きる」ことの大切さを学びました。

水俣病のことを学び、考えることにより、みなさんも人を思いやることの大切さを自らの生活の中でいかしてもらいたいと思います。

※語り部とは、水俣病についての経験を伝えられている水俣病患者の方などのことをいいます。

## 水俣病問題を学習して学んだことを書いてみよう！



私は、水俣病問題を学習して

を学びました。

これからは、学んだことを生かして

したいです。

## 関連施設の紹介 水俣病や環境問題について学ぶことができる施設を紹介するよ。



### 水俣市立水俣病資料館

昔の資料を見たり、語り部の方のお話を聞いたりできるよ！

■ホームページアドレス

<http://www.minamata195651.jp>



### 国立水俣病総合研究センター ・水俣病情報センター

水俣病に関する資料や水銀に関する展示があるよ！

■ホームページアドレス

<http://www.nimd.go.jp/archives>



### 熊本県環境センター

いろいろな環境問題について勉強できるよ！

■ホームページアドレス

<http://www.kumamoto-eco.jp/center>

## 熊本県環境生活部水俣病保健課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号  
TEL 096-333-2304 / FAX 096-382-3296

熊本県ホームページ

<http://www.pref.kumamoto.jp>

水俣病保健課

検索

発行者 / 熊本県

所属 / 水俣病保健課

発行年度 / 平成26年度

©2010 熊本県 くまモン